

読書週間にちなんで【10月15日～10月19日】

読書の楽しさを広める“図書委員会”

『読書 大好き 南っ子』を一人でも多く増やそうとして、日々図書室で本の貸出や返却の仕事に励んでいるのが、図書委員会の5・6年生。

この読書週間では、“みんなで千冊読もうキャンペーン”と名付けて、子ども達全員で合計千冊を読む運動を推進しています。

『家族で 本の世界を 楽しもう』

一緒に本を読んだり、本を読んで「おもしろかった！」という気持ちを家族や身近な人と伝え合い、一緒に本の世界を楽しむことを『うちどく(家読)』と言います。

図書委員会による集会 (10/15)

読書の効果の一つに、『たくさんの知識や言葉を得ることができる』という効果があります。図書委員会の5・6年生は、「読書をしてみんなにもの知りになって欲しい。」との願いを込めて、アナグラム(ことばの入替え)ゲームを計画し、全校で楽しみました。このゲームは、たくさんの言葉や表現方法の中から、正しいものを見つける遊びです。集会の様子は、本校のホームページに詳しく特集されています。

【栃木市立南小学校のホームページ】

「栃木市立南小学校」で検索 → 「栃木市立南小学校 栃木市教育ポータルサイト」をクリック → 「校内読書週間」「人形劇」をクリック

おはなしフェスティバル (10/16)

読み聞かせボランティア“お話広場”の皆さんによる人形劇「あしたもともだち」が、開演されました。この人形劇は、すでに十年近く南小の子ども達に愛されています。裏面に写真集を掲載しました。

→詳しくはホームページをご覧ください。

《写真後列・左から》・野尻 恵子さん ・三木智恵子さん
・岡本 文子さん ・片柳 道子さん
《写真前列・左から》・荒川チヨ子さん ・直井 聖美さん
・小木 ナヲさん ・松本 真理さん
・小林 文さん



パソコンを使って貸出と返却を



1冊借りるとシールを1枚



